

猛暑続く！ 間もなく出穂期！

花水！！

時期に合わせたきめ細やかな水管理で

登熟向上を図りましょう！

水温・地温を 下げる管理を！

1 出穂の状況

出穂期は、生育診断圃「はえぬき」で7月30日頃（平年8月1日）、「雪若丸」で8月2日頃（平年8月3日）、「つや姫」では8月7日頃（平年8月9日）と見込まれます。

2 今後の気象予報

暑さが続く！

1か月予報（7月27日発表）によると、気温は高いと予想されています。梅雨明け以降猛暑が続いていますが、今後の天気予報においても、日中はこの暑さが続き、夜温も24～26℃と高い状態が続く見込みとなっています。雨マークはほとんどありません。

3 これからの水管理

長雨でゆるんでいた圃場も、連日の猛暑でほぼ締まりました。中生品種では間もなく出穂期を迎えます。「湛水モード」にスパッと意識を切り替え、今後の水管理を行いましょう。

出穂・開花期は稲体が最も水を必要とする時期です。出穂直前～穂揃期（7日間程度）までは2～5cmの水深で湛水状態を維持しましょう。

穂揃期以降は間断灌水（2湛2落）や飽水管理に移行しましょう。異常高温や高夜温が続く予報です。水を溜めっ放しにすると根の活力が低下するので、必ず冷たい水との入れ替えを行い、水温・地温を低下させましょう。

出穂後に強風やフェーンが予想される場合は湛水し稲体を保護しましょう。

4 葉いもちの発生が広域で確認されています！

7月20日に、病害虫防除所から穂いもちの注意報が発表されています。出穂直後の穂は、特にいもち病に感染しやすいことから、穂いもちの防除は、穂孕後期と穂揃期の2回防除を基本とします。葉いもちの発生が多いほ場や上位葉で発生の見られる圃場では、治療効果のある薬剤に変更して防除を行いましょう。



これからも暑い日が続きます！ 農作業はできるだけ朝夕のみとし、 無理はせず水分・休息をしっかりととりましょう！